

## 地方道路交付金事業（H17～H19年度）の成果目標に対する達成状況について

### ◆事業期間の成果目標値の達成状況：

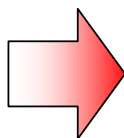
地方道路交付金事業により産業及び観光拠点から主要幹線道路までの連絡時間が短縮されました。

平成17年度～平成19年度の3年間で、地方道路交付金事業（道路特定財源を原資とする）により、予定されていた幹線市道の整備が完了しました。その結果、産業及び観光拠点から主要幹線道路までの連絡時間が短縮され、平成17年4月に設定した成果目標値である30.7%を達成することができました。

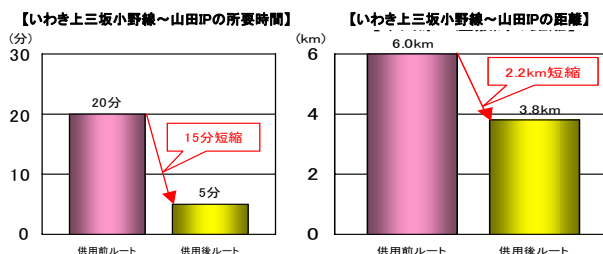
成果指標（目標値）	H17年4月	中間目標値	H20年3月末 目標値	H20年3月末 実績値
	0%	-	30.7%	30.7%

※ 成果目標値及び実績値の算出については新設（改築）事業の全路線を対象としております。

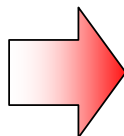
### 工業団地から主要幹線道路間の整備：市道 社岡・大谷線の事例



当該路線は主要地方道いわき上三坂小野線と県道旅人勿来線を結ぶ1級市道であり、山間地区である遠野地区と植田市街地および、勿来ICを結ぶ道路ネットワークを構築するために重要な路線であります。また、本線に隣接して、住宅・工場の複合工業団地「山田インダストリアルパーク」があり、住宅の建設・工場の進出に伴い、本路線の交通量は年々増加の傾向にありました。本路線を整備したことにより、地域間交流の活性化、円滑な道路交通ネットワークの構築、交通量の増加による渋滞の解消が図れました。



### 歩行者等の安全確保を図る道路の整備：市道 南富岡・元分線の事例



当該路線は、国道6号常磐バイパスと小名浜市街地を結ぶ重要な幹線市道で自動車の交通量が多く、また、付近には幼稚園、小学校、公民館及び病院等の施設があり、幼児、小学生、高齢者等の歩行者交通量も非常に多い路線であります。本路線の歩道は、幅員が狭く段差が大きいなど歩きづらい状況でありました。本路線を整備したことにより、歩道幅員が広がり、誰もが安心して歩行できるバリアフリー歩行空間の確保が図れました。